実施 ① 令和 6年 10月 26日 (20:00~22:00) 日 ② 令和 6年 11月 1日 (20:00~22:00)

1. 初期支援(はじめのかかわり)

ポンバー 木村、飯田、柿木、清水、村上修、尾家、髙田 丸山、虎走、村上勉、寺田、小林、奥野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

	個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
0	前回の課題について取り組めましたか?	3人	10 人	人	人	13 人

前回の改善計画

当日リーダー職員が指示を出していくことに留意しつつ、各職員が主体的に声を掛け合って、動けるようになれるよう努める。また、多岐にわたる情報を把握するためにも、引き継ぎノートは読み込んでおく。

前回の改善計画に対する取組み結果

主体的に動けるようになっているが、まだまだ改善の必要はある。

引継ぎノートを読み込んでおく職員は増えている。

◆今回の自己評価の状況

	個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
1)	本人の情報やニーズについて、利用開始前 にミーティング等を通じて共有しています か?	2	10	1		13
2	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、 まず必要としている支援ができています か?	2	10	1		13
3	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	3	9	1		13
4	本人を支えるために、家族・介護者の不安を 受け止め、関係づくりのための配慮をして いますか?	2	7	4		13

できている点

200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・ご本人やご家族としっかり情報共有出来ている。
- ➡利用開始前にしっかりとサービスについて説明させて頂き、情報共有が出来ている。
- ・情報把握に努め、分からない事は良く把握している職員に確認している。
- ➡面接記録や担当ケアマネジャーに足りない情報に関しては補足してもらっている。
- ・出勤時に、引継ぎノートを確認しメモをとっている。
- ➡各職員が勤務前には仕事への準備が定着し把握出来る様になってきた。

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・引継ぎノートや引き継ぎが十分に行えず、職員から指摘を受ける事がある。
- ➡職員の配置状況によって、引き継ぎ等の話し合う時間が持てない。
- ・ゆっくりと利用者様とお話しする時間がない。
- ➡雑務の業務を効率的に済ませてしまう等、自身の業務段取りが上手く活用出来ていない。
- ・訪問や家族との関係作りがあまり出来ていない。
- ➡フロア待機であるため、そもそも家族と会う機会が少ない。
- ・職員同士の連携が取れない事がある。
- ➡声掛けが不足している。

次回までの具体的な改善計画

(200 字以内)

- ・面接記録や事前情報を全員がしっかりと把握して業務にあたる。
- ・当日リーダー職員が的確に指示を出し、各職員は互いに補い能動的に動けるように努める。

実施 ①令和 6年 10月 26日 (20:00~22:00) 日 ②令和 6年 11月 1日 (20:00~22:00)

2. 「~したい」の実現(自己実現の尊重)

オガン・ 木村、飯田、柿木、清水、村上修、尾家、髙田 丸山、虎走、村上勉、寺田、小林、奥野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

Ī		個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
	0	前回の課題について取り組めましたか?	1人	12 人	人	人	13 人

前回の改善計画

日々の関りからご本人の思いを把握し、職員間で情報共有をした上で、ご本人の思いを実現できるように努める。

前回の改善計画に対する取組み結果

介護記録や引き継ぎノートに記載するようになっており、チームとしてご利用者の自己実現に向けた取り 組みができるようになっている。

◆今回の自己評価の状況

	個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)	
1)	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	1	8	4		13	
2	本人の当面の目標「~したい」がわかっていますか?	1	8	4		13	
3	本人の当面の目標「~したい」を目指した 日々のかかわりができていますか?		8	5		13	
4	実践した(かかわった)内容をミーティング で発言し、振り返り、次の対応に活かせてい ますか?		6	7		13	

できている点

200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・普段の関わりの中で、ご本人やご家族の思いが理解できている。
- ➡コミュニケーションを図り利用者様の想いを聞き出す事が出来る様になってきた。
- ・指摘された事は、同じ事を繰り返さないように出来ている。
- ➡引き継ぎや個人間での話し合いから指摘された事柄に対しては話し合える様になってきた。
- ・利用開始前やモニタリング等で家族やご本人の思いを確認出来ている。
- ➡毎月のモニタリングでの書面や引き継ぎ等から情報周知が上手く活用出来る様になってきた。

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・実践できているかと振り返った時に出来ていない事が多い。
- ➡日々の業務が忙しく、振り返る余裕がない。
- ・利用者様によっては関わりが少なく情報が把握出来ていない。
- ➡業務の効率化が図れていないことで、ご利用者とゆっくり関わる時間が確保できていない。
- ・情報が職員間で共有出来ていない事がある。
- →会議に参加できる職員が少ないことも一つの要因として考えられる。

次回までの具体的な改善計画

(200 字以内)

・ご利用者様の目標実現のため、職員間で共同して業務の効率化等を図り、ご利用者と関わる時間を確保する。その際に得られた情報を職員全員で共有して、ご利用者様の目標実現に向けた支援に繋げる。

 実施
 ①令和6年10月26日(20:00~22:00)

 日
 ②令和6年11月1日(20:00~22:00)

木村、飯田、柿木、清水、村上修、尾家、髙田

丸山、虎走、村上勉、寺田、小林、奥野

3. 日常生活の支援

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
前回の課題について取り組めましたか?	人	11 人	2人	人	13 人

前回の改善計画

会議に参加してもらい、ご利用者の気持ちや体調の変化等の気づきを共有する。参加できなかった職員に対しては、後日に口頭伝達を実施し、情報共有を図る。

前回の改善計画に対する取組み結果

会議や研修に参加した職員に偏りがあった。参加できなかった職員に対して、後日に口頭伝達はしているが不十分な点もあった。

◆今回の自己評価の状況

▼ / I							
	個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)	
1	本人の自宅での生活環境を理解するために 「以前の暮らし方」が 10 個以上把握できて いますか?		1	12		13	
2	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ 等の基礎的な介護ができていますか?	2	10	1		13	
3	ミーティングにおいて、本人の声にならな い声をチームで言語化できていますか?	2	7	3	1	13	
4	本人の気持ちや体調の変化に気づいたと き、その都度共有していますか?	4	9			13	
(5)	共有された本人の気持ちや体調の変化に即 時的に支援できていますか?	3	10			13	

できている点

200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・日々の関わりで生活歴や生活状況は把握出来ている。
- ➡普段の関わりから利用者様の想いを聞き出す事が出来る様になってきた。
- ・利用者様の気持ちに寄り添いケア出来ている。
- ➡想いを聞き出し、引き継ぎや口頭での報告から支援に繋げられる様になってきている。
- ・小規模のサービスを最大限に活かせている。
- ➡本人に合わせた通い・訪問・宿泊が提供出来ている。

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・会議に参加出来ている職員が少なく、情報共有が不十分。
- →変化や気づきがあっても、その場の職員間でしか共有出来ていない。
- ・会議の時間が20時なので参加出来ない職員がいる。
- ➡家庭の事情にもよるところが大きい。
- ・自宅での生活が把握出来ていない。
- ➡訪問する職員に偏りがあり、自宅での生活を把握するのが難しい時がある。

次回までの具体的な改善計画

(200 字以内)

・会議や研修の参加者を増やすことで、ご利用者の思いや体調の変化について、リアルタイムで情報共有を図る。

4. 地域での暮らしの支援

実施	①令和 6年 10月	26 日	(20:00~22:00)
日	②令和 6年 11月	1 日	(20: 00~22:00)

オンバー 木村、飯田、柿木、清水、村上修、尾家、髙田 丸山、虎走、村上勉、寺田、小林、奥野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

	個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
0	前回の課題について取り組めましたか?	3人	3人	7人	人	13 人

前回の改善計画

全職員が個別支援(外出企画等)に参加できるようにする。また、地域の催し物や運営推進会議の参加等、地域と関わる機会を設ける。

前回の改善計画に対する取組み結果

個別支援に参加する職員は増えており、地域の小学生との交流や神社の祭りに参加することが出来た。

◆今回の自己評価の状況

	個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
1	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係 等を理解していますか?	2	9	2		13
2	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れ ないように支援していますか?	1	7	4	1	13
3	事業所が直接接していない時間に、本人が どのように過ごしているか把握しています か?	1	6	5	1	13
4	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域 の資源等を把握していますか?		5	5	3	13

できている点

200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・普段の関わりから生活環境やスタイルが把握出来ている。
- ➡想いを発信してくれる元気な利用者様が増えた。
- ・体調変化や気づいた事があれば職員やご家族に引継ぎ出来ている。
- ➡普段から行っており、本人・ご家族様が安心して過ごせる様配慮出来ている。
- ・数は少ないが外出行事に参加出来るよう配慮している。
- ➡一年に一度、誕生月に行事企画を催し参加していただいている。

できていない点

200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・運営推進会議に参加出来ていない。
- ➡当日の職員体制上で参加が困難。
- ・通いが休みの日の様子は把握しきれていない。
- ➡ご利用者との関係性が不十分であることで、プライバシーに関した話を聞きづらい。
- ・ガーデンハウスで働いている時間内で地域と接する機会がない。
- ➡フロア待機していることで、外に出る機会が少ない。

次回までの具体的な改善計画

(200 字以内)

・引き続き全職員が個別支援に参加できるよう検討し、回覧板や配布物を参考にご利用者と地域との関わりが途切れないように支援する。

5. 多機能性ある柔軟な支援

実施 ①令和 6年 10月 26日 (20:00~22:00) 日 ②令和 6年 11月 1日 (20:00~22:00)

オンバー 木村、飯田、柿木、清水、村上修、尾家、髙田 丸山、虎走、村上勉、寺田、小林、奥野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

	個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
0	前回の課題について取り組めましたか?	5人	7人	1人	人	13 人

前回の改善計画

感染状況を把握し、十分な感染対策を講じた上で、地域資源を活用して外出等を企画していく。

前回の改善計画に対する取組み結果

企画した行事のみならず、日常的な活動でも地域資源を活用できている。 また、個人の状態に応じて「通い・訪問・宿泊」サービスを柔軟に提供している。

◆今回の自己評価の状況

	個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
1	自分たち事業所だけで支えようとせず、地 域の資源を使って支援していますか?	2	9	1	1	13
2	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥 当適切に提供されていますか?	6	7			13
3	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に 気づき、ミーティング等で共有することが できていますか?	6	6	1		13
4	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	3	9	1		13

できている点

|200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・誕生日企画として、近くの飲食店を利用している。(買い物同行もしている)
- ➡一年に一度、誕生月に行事企画を催し参加して頂いている。
- ・急な宿泊にも対応出来ている。
- ➡本人の状態や家族様の都合に合わせ臨機応変に対応出来ている。
- ・個々の状態に合わせた柔軟な対応や支援が出来ている。
- ➡本人の状態や家族様の都合に合わせ柔軟に対応出来ている。

できていない点

200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・利用者様の変化に気づくのが遅い。
- ➡日頃の関りが少ない。観察不足。
- ・フロア待機が多く、外出の機会が少ない。
- ➡持ち回りではないため、希望を伝える等の発信ができていない。
- ・ガーデンハウスだけで完結しており、地域支援の活用はあまり出来ていない。
- ➡地域との関わりが以前よりも希薄となっている。
- 記録が浅い。
- ➡結果のみとなっており、理由や過程が不明となっている。

次回までの具体的な改善計画

(200 字以内)

・ご利用者の普段の様子をしっかり把握した上で、小さな変化を見逃さずに情報共有し、詳細な記録を残して、柔軟な支援に繋がるように努める。

6. 連携·協働

実施 ①令和 6 年 10 月 26 日 (20:00~22:00) 日 ②令和 6 年 11 月 1日 (20:00~22:00)

ポートン 木村、飯田、柿木、清水、村上修、尾家、髙田 丸山、虎走、村上勉、寺田、小林、奥野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

	個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
0	前回の課題について取り組めましたか?	3 人	3 人	5 人	2 人	13 人

前回の改善計画

運営推進会議に参加できるように配慮し、地域との関わりを持てる機会を設ける。また、同様に関係するサービス機関との会議等にも参加してもらう。

前回の改善計画に対する取組み結果

一部職員は参加することができたが、職員体制上の制約があったことで会議等をとおして地域との関わりを持つことは出来なかった。

◆今回の自己評価の状況

	個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
1	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	1	6	3	3	13
2	自治体や地域包括支援センターとの会議に 参加していますか?	1	4	1	7	13
3	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦 人会、消防団等)の活動やイベントに参加し ていますか?		6	2	5	13
4	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民 が事業所を訪れますか?	1	6	3	3	13

できている点

200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・桂川小学校との交流が再開している。
- ⇒コロナ禍による制限が解けた事で外部との交流が再開出来だしている。
- ・ケアマネジャーから会議内容の引き継ぎが行えており、情報が共有出来ている。
- ➡地域での会議や運営推進会議等は参加職員から報告があり詳細が把握出来る様になった。
- ・運営推進会議には必ず参加し、地域の方とも情報の共有が出来ている。
- ⇒参加職員は偏りはあるが参加し地域との情報共有が出来ている。

できていない点

200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・町内会の行事を把握していない。
- ➡祭り等の案内は掲示されることはあるが、その他の情報が入ってこない。
- ・地域の活動や行事、会議に参加出来ていない。
- ➡機会がない、もしくは少ない。
- ・運営推進会議だけでは参加者が限られている。
- ➡職員配置上の都合で参加することが難しい。

次回までの具体的な改善計画

(200 字以内)

・地域の活動や行事、会議を年単位で情報収集し、回覧板や配布物を参考に把握した上で偏りがでないよう計画を立てて地域と関わる。

実施 ① 令和 6 年 10 月 26 日 (20:00~22:00) 日 ② 令和 6 年 11 月 1 日 (20:00~22:00)

日 ② 令和 6 年 11 月 1 日 (20: 00~22:00

オンハー 木村、飯田、柿木、清水、村上修、尾家、髙田 丸山、虎走、村上勉、寺田、小林、奥野

7. 運営

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
前回の課題について取り組めましたか?	3 人	5 人	5 人	人	13 人

前回の改善計画

地域に必要とされる拠点であるために、地域の会議や催し物には、積極的に参加する。

前回の改善計画に対する取組み結果

地域ケア会議等には参加しているが、催し物には声が掛からず参加出来ていない。

◆今回の自己評価の状況

	個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
1	事業所のあり方について、職員として意見 を言うことができていますか?	3	4	6		13
2	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	4	6	3		13
3	地域の方からの意見や苦情を運営に反映し ていますか?	1	6	5	1	13
4	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	2	3	6	2	13

できている点

200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・利用者様やご家族の意向を確認し、運営出来ている。
- ➡ご家族様の希望や本人の希望に沿えて支援出来ている。
- ・ご家族からもノートや電話等で意見を言いやすく、必要な事は職員間で情報共有出来ている。
- ➡ご家族様とも相談しやすい信頼関係が築けていけるようになってきている。
- ・職員同士意見を出し合い、しっかり検討出来ている。
- ➡引き継ぎや会議等でも意見を遠慮なく言える様になってきている。

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・あまり地域の方からの意見を聞く機会がなく、反映されていない。
- ➡意見を聞ける地域の方が限られている。
- ・地域と協働した取り組みが出来ていない。
- ➡普段からの関りが少ない。
- ・地域の意見等をどうすれば知れるのか分からない。
- ➡地域との関わりがない。

次回までの具体的な改善計画

(200 字以内)

・介護に関する相談ができるようなチラシを配布する等、地域と関わりを持てるようなきっかけ作りを検討する。福祉フェア等の地域へ発信する事を検討する。

8. 質を向上するための取組み

実施 ①令和 6 年 10 月 26 日 (20:00~22:00) ②令和 6 年 11 月 1 日 (20:00~22:00)

オンバー 木村、飯田、柿木、清水、村上修、尾家、髙田 丸山、虎走、村上勉、寺田、小林、奥野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

	個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
0	前回の課題について取り組めましたか?	人	10 人	2 人	1人	13 人

前回の改善計画

研修や会議に参加して、介護技術や知識、リスクマネジメントを修得してもらえるように努める。参加できない職員に対しては、後日個別に伝達する。

前回の改善計画に対する取組み結果

会議や研修に参加している職員に偏りがある。参加できなかった職員に対してのフォローが不十分であった点もある。

◆今回の自己評価の状況

	個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
1	研修(職場内・職場外)を実施・参加してい ますか	3	4	3	3	13
2	資格取得やスキルアップのための研修に参 加できていますか	2	3	1	7	13
3	地域連絡会に参加していますか	1	2	2	8	13
4	リスクマネジメントに取組んでいますか	3	7	2	1	13

できている点

| 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・事業所内での研修でリスクマネジメントを学び、委員会の開催時には参加し、介護事故防止に 努めている。
- ➡リスクマネジメントについて毎月報告させていただき、職員への周知が出来ている。
- ・月間の事故件数の低さからリスクマネジメントにしっかり取り組めている。
- →各職員の観察やケアが事故防止に繋げられている。
- ・資格取得の為、講義を聞きに行ったり出来ている。
- ➡小規模研修を通じて各職員が意欲的に参加してくれる様になった。

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・研修に参加する職員が少ない。(外部研修に参加出来ない。)
- ➡開始時間が遅いため、家庭の事情等により参加が難しい。
- ・地域連絡会に参加出来ていない。
- ➡職員配置上の都合で参加が難しい。
- ・ヒヤリハットの提出が少ない。
- →気づきがないわけではないが、作成方法や必要性、重要性が理解できていない。

次回までの具体的な改善計画

(200 字以内)

・アンケートで会議や研修に参加できる時間を確認し、開始時間の変更を検討する。 参加者を増やし職員間でのスキルアップを目指す。

9. 人権・プライバシー

実施 ①令和 6年 10月 26日 (20:00~22:00) 日 ②令和 6年 11月 1日 (20:00~22:00)

ポートン 木村、飯田、柿木、清水、村上修、尾家、髙田 丸山、虎走、村上勉、寺田、小林、奥野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

	個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
0	前回の課題について取り組めましたか?	2 人	9人	2 人	人	13 人

前回の改善計画

個人情報やプライバシーに関する重要性を周知し、書類等は常にご利用者の目に触れる可能性があることを念頭に置いて業務にあたる。

前回の改善計画に対する取組み結果

改善の傾向はみられる。気がついたときには互いに指摘することが出来ている。

◆今回の自己評価の状況

	個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
1	身体拘束をしていない	8	5			13
2	虐待は行われていない	8	5			13
3	プライバシーが守られている	4	7	2		13
4	必要な方に成年後見制度を活用している	6	6	1		13
(5)	適正な個人情報の管理ができている	5	7	1		13

できている点

200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・記録類が人目につかないように配慮している。
- →各職員が意識して扱う事が出来てきている。
- ・個人情報の重要性が身についている。
- ➡研修や普段の業務やケアで意識する事が出来るようになった。
- ・身体拘束や虐待はしていない。
- ➡虐待に関しては見受けられていない。

できていない点

200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・トイレが空きっぱなし等、配慮が足らない時がある。
- ➡意識が足りない。
- ・プライバシーへの配慮が足りていない。(引き継ぎ時に利用者の名前を言う等)
- ➡引き継ぎの際、利用者の名前を伝える時の声が大きい。

次回までの具体的な改善計画

(200 字以内)

・個人情報の保護やプライバシーへの配慮等、その必要性について職員へ周知し常に意識する姿勢を持つ。 また、研修等を通してご利用者の権利擁護について学びの機会を持つ。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	柊野福祉会	代表者	酒枝 素子
事業所名	ガーデンハウス上桂	管理者	木村 伸広

法人・ 事業所 の特徴 理念(精神的方向づけ)「長生きして良かった」と、心から喜んでいただける日が、一日でも多くありますように。 使命(任務・行動の方向づけ)人生の大先輩のために、いま私たちにできることは... 目的(組織として目指す最終ゴール)誰もが自分らしく暮らして行ける環境や社会の 仕組みを、皆で創ること。

出席者		市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団 体	利用者	利用者家族	地域包括	支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
		0 /	1人	2 人	1人	1人		1人	0人	2	人 0人	8人
項	ĺ	目	前回の改	善計画	前回の改善計画	iに対する取組み・	結果		意見		今回の改善	計画
			職員全体で情報			客前には引き継			く前の準備段降		ご利用者の普段の枠	–
			かい車がある為	引き継ギファイ	マイルを確認	リー仕事への淮	借がしか	いりと信ま	超を押据する。	まけ 十重 し	7 押据した上で 小	さか亦ルた目

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
	職員全体で情報共有が出来てい	各職員が勤務前には引き継ぎフ	業務に就く前の準備段階でしっ	ご利用者の普段の様子をしっか
	ない事がある為、引き継ぎファイ	ァイルを確認し仕事への準備が	かりと情報を把握する事は大事	り把握した上で、小さな変化を見
	ルの活用と口頭でも報告・連絡・	定着し把握出来る様になってき	な事なので今後も情報把握から	逃さずに情報共有し、詳細な記録
A. 事業所自己評価	相談を継続して行う。	た。決まった時間に毎日引き継ぎ	情報共有を行いケアに繋げて欲	を残して、柔軟な支援に繋がるよ
の確認		を行う事で情報共有が昨年より	しい。	うに努める。引き続き全職員が個
□ ○ ○ 7 作臣 □ ○		できるようになった。職員の配置	職員の配置状況により人が少な	別支援に参加できるよう検討し、
		状況によって、引き継ぎ等の話し	い時にも時間を見つけて情報を	回覧板等を参考にご利用者と地
		合う時間が持てない事もあった。	しっかりと共有して欲しい。	域との関わりが途切れないよう
				に支援する。
	地域との関わりがあれば参加さ	地域ケア会議や小規模連絡会等	施設だけの取り組みで終わるの	地域との関わりを意識し行事企画
B. 事業所の	せて頂き、施設としての環境を有	の会議には定期的に出席する事	ではなく、今後は施設を地域に発	を通じて施設の認識を広められる
しつらえ・環境	効活用出来る様目指す。	ができたが、施設としての発信は	信していく取り組みを期待した	よう目指す。地域に貢献できるよ
しつりた 然先		不十分であったと感じる。	V,	う、場所を提供したりといった取
				り組みを行う。
	地域の催し物には今後も参加さ		今後も地域との繋がり・関わりを	地域の催し物に参加出来する為
C. 事業所と地域の	せて頂き、参加するだけではなく	祭りにも参加出来た個別支援と	意識して行事企画を行って欲し	に情報収集を行う。季節毎に行事
かかわり	地域との関わりが出来るような	して外食する事が毎月出来た。	い。地域との関わりを増やす事で	企画が行える様目指す。外出企画
77.77.77	関係作りを目指す。		施設の事を発信出来る様になっ	を増やし、地域との関わる機会を
			て欲しい。	持てる様働きかけを行う。
	今後も感染対策を行った上で、利	個別支援として外食だけでなく、	自宅と施設の行き来だけでなく、	感染症対策をしっかりと行い、地
D. 地域に出向いて	用者様の思いを型に出来る様支	本人の好きな所へ行くといった	個別支援を定期的に行っている	域の行事やイベントに参加する。
本人の暮らしを	援を行う。	外出も出来た。	事は評価できる。今後も利用者様	引き続き、地域の行事やイベント
支える取組み			の笑顔を引き出せる取り組みを	の情報を収集し参加していく。
			行って欲しい。	

	運営推進会議で、登録利用者や地	ガーデンハウス単体で会議を行	今後は事業所を地域へもっと発	運営推進会議を通じて、地域の方
	域で支援が必要な方の情報共有	える様になり、職員・参加者様か	信していく取り組みを期待した	の意見を頂きながら、小規模多機
E. 運営推進会議を	を行っていく。また、事業所とし	ら意見交換が密に出来る様にな	l,	能の役割、事業所の取り組みを発
活かした取組み	て地域でできることを話し合っ	った。	その為に地域での催し物や会議	信していく。・引き続き、地域の心
	ていく。		にも参加し事業所を広めていっ	配な方のご相談や協力依頼を行
			て欲しい。	っていく。
	災害時の対応について、継続して	災害に対する危険予測や避難訓	災害はいつ起こるかわからない	事業所職員の防災に関する技術
	研修を行う事と、地域の防災訓練	練等の防災意識を常に意識し研	為、常に意識しておいて欲しい。	と知識、意識を向上させる。今後
F. 事業所の	にも参加させていただき常日頃	修や訓練に活かす事が出来た	避難訓練を定期的に行い防災意	も災害発生にも対応できるBC
防災・災害対策	から防災意識を高める。	0	識を高めてもらいたい。	Pの整備を行う。災害時に地域の
				一員として貢献できる方法を考
				え、引き続き発信する。